

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>		ユニバーサル社会に対応した高齢者、障がい者等の歩行者移動支援の推進		<b>担当部局庁</b>	総合政策局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		H23～		<b>担当課室</b>	参事官(総合交通体系)		参事官 秋村成一郎	
<b>会計区分</b>		一般会計		<b>施策名</b>	37 総合的な国土形成を推進する			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>		-		<b>関係する計画、通知等</b>	移動等円滑化の促進に関する基本方針(H23.3.31改訂) 国土形成計画(全国計画)(H20年7月4日閣議決定)			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		少子高齢化社会に向けて、ICT等を活用し、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが必要に応じ、移動に関する情報を入手し、積極的に活動できるバリアフリー環境の構築をソフト施策の面から推進することを目的に、高齢者、障がい者等の移動制約者等に対するICT等を活用した歩行者移動支援サービスの普及・展開に向けた環境整備を行う。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>		①位置特定技術等を活用した高齢者、障がい者等の歩行者移動支援の環境整備 これまで行われてきたモビリティサポートモデル事業から得た成果に加え、民間企業等が開発・蓄積している位置特定技術等を活用することによって、高齢者・障がい者等が移動に際して必要な情報を精度良く入手できる環境整備等を実施する。 ②歩行者移動支援サービスの向上検討 民間企業や大学等が保有するICT等を活用した歩行者移動支援に関する技術やノウハウを収集・整理することにより、自治体等への技術情報の提供によるサービスの普及・展開の促進、研究者間の情報共有による関連技術の向上を図る。 ③継続的な運用に向けた検討 歩行者移動支援に関連する技術の国内共通化に向けた取組を行うとともに、将来的な国際標準化に向けた取組を継続する。また、歩行者移動支援に必要な技術的課題の解決策や、制度面の検討及びサービスの普及・展開等について検討を行う。行政機関、学識経験者等から成る「ICTを活用した歩行者移動支援に関する勉強会」を開催・運営し、更なる普及・展開に向けた方向性等について議論を行う。 ④歩行空間ネットワークデータの整備 段差の有無、幅員やスロープなどのバリア情報を含む歩行空間ネットワークデータについては、広く一般に公開することで、本データを活用したバリアフリー経路検索や移動案内サービスの提供など、高齢者、障がい者等の移動制約者の利便性の向上が図られることから、整備推進に向けた環境整備を行う。						
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		予算 の 状 況	当初予算	-	-	70	59	
			補正予算	-	-	0	0	
			繰越し等	-	-	0	0	
			計	-	-	70	59	
		執行額	-	-	68			
執行率(%)	-	-	97.1%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		本施策は、歩行者移動支援サービスの普及・展開に向け、仕様の策定や技術の標準化等の環境整備を行うものであり、成果目標及び成果実績を明示的に示すことは困難な性質のものである。		成果実績				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		本施策は、歩行者移動支援サービスの普及・展開に向け、仕様の策定や技術の標準化等の環境整備を行うものであり、活動指標及び活動実績を定めて実施するというものではない。		活動実績 (当初見込み)		( )	( )	( )
<b>単位当たりコスト</b>		① : 10.5百万円/箇所 ② : 2.5百万円/項目 ③ : 1.9百万円/項目 ④ : 2.8百万円/項目		算出根拠		①: 現地事業実績額(42百万円)÷現地事業箇所数(4箇所) ②: 実績額(7.5百万円)÷業務項目数(3項目) ③: 実績額(7.5百万円)÷業務項目数(4項目) ④: 実績額(11百万円)÷業務項目数(4項目)		
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金		0.3百万円					
	職員旅費		0.5百万円					
	委員等旅費		0.4百万円					
	国土形成計画推進調査費		58百万円					
	計		59百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	高齢化社会の進展を背景として、障がい者や高齢者を含め国民の誰もが円滑に移動できるような環境を構築する必要がある。また地方や民間が主体となった場合、全国において一定の基準が必要となる。したがって、国が主導となって事業を推進していく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	検討内容が専門的かつ高度であることから、第三者機関である企画競争有識者委員会に諮った上で、受注者を選定しており、競争性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	「歩行者移動支援サービスの導入に関するガイドライン(案)」「歩行空間ネットワークデータ整備仕様案」を公表した。今後歩行者移動支援サービスを導入していくものにとつて十分有益なものであり、活用に関する問い合わせも増加してきている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>現地事業の請負先の選定にあたっては前広に提案書の公募を行い、有識者委員会での意見・助言を踏まえて実施箇所を必要最小限に絞るなど、事業内容の重点化を図りながら実施した。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】  ・歩行者移動支援サービスの導入を検討している者が、サービスの導入を容易に行えるように「歩行者移動支援サービスの導入に関するガイドライン(案)」を作成した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	33

※平成23年度実績を記入

国土交通省  
68百万円

職員旅費、諸謝金、委員等旅費  
1百万円

〔移動支援サービスの普及  
展開に係る企画・立案等〕

【公募・委託契約】

A. 協議会等(4者)  
36百万円

【再委託】

B. 民間企業(1社)  
5百万円

〔ユニバーサル社会に対応した歩行者  
移動支援に関する現地事業〕

〔現地事業の実施に関する補助〕

【公募・企画競争】

C. 民間企業(3社)  
24百万円

〔サービスの向上検討  
継続的な運用に向けた検討  
歩行空間ネットワークデータの整備〕

【少額随意契約】

D. 民間企業(1社)  
1百万円

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.「東京ユビキタス計画・銀座」実施協議会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	システム構築、コンテンツ作成等	3			
その他	庁費、その他原価	7			
計		10	計		0
B.ユーシーテクノロジー株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	現地事業の実施に関する補助	5			
計		5	計		0
C.社会システム株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	平成23年度 歩行空間ネットワークデータの有効活用促進業務	10			
計		10	計		0
D.シンソー印刷株式会社			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	ノウハウ集の印刷	1			
計		1	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	函館市ユニバーサルツーリズム推進協議会	平成23年度函館地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業の実施	9	-	-
2	「東京ユビキタス計画・銀座」実施協議会	平成23年度銀座地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業の実施	10	-	-
3	京都フラワーツーリズム推進協議会	平成23年度京都地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業の実施	9	-	-
4	長崎市LRTナビゲーション推進協議会	平成23年度長崎地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業の実施	8	-	-
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ユーシーテクノロジー株式会社	平成23年度銀座地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業の実施に関する補助	5	-	-
2					
3					
4					
5					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社パスコ	平成23年度 歩行者移動支援サービスの継続的な運用及びサービスの高度化等に関する検討調査	7	随意契約	99.8%
2	株式会社パスコ	平成23年度 ICT等を活用した歩行者移動支援に係る技術情報把握に関する調査	7	随意契約	99.9%
3	社会システム株式会社	平成23年度 歩行空間ネットワークデータの有効活用促進業務	10	随意契約	99.7%
4					
5					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	シンソー印刷株式会社	「ICTを活用した歩行者移動支援システムの水平展開に向けた事例とノウハウについて」印刷	1	随意契約	100.0%
2					
3					
4					
5					